

今年も盛大に「究極」飯の祭典「米・1グランプリ」

お米や米粉を使った料理・スイーツを食べ比べ、来場者の投票でナンバーワンを決定する「米・1グランプリ2014」が十月十八日から二日間、横田運動公園多目的広場で盛大に開催されました。

実行委員会とやらこい奥出雲が主催するこのイベントは今年で五回目。今年は三十九店が趣向を凝らした五十三品を出品し、二日間で県内外から約二万五千人が訪れました。

各テントには長い行列ができ、来場者は多彩なメニューを堪能し、食欲の秋を満喫しました。



▲いたる所で長い行列ができ賑わう会場

さくらおろち湖祭り賑わう

10月19日、さくらおろち湖ボート競技施設周辺でさくらおろち湖祭りが開催されました。

ステージでは、槻之屋神楽や仁多乃飛炎太鼓、熱田修二さんと白築純さんによるトランペットと歌の披露など多彩なステージイベントが繰り広げられました。また、地元特産品など様々な商品を販売するテントが軒を連ね、多くの来場者で賑わいました。

湖面では、ボートやシーカヤック体験が行われ、普段見ることのできない湖面からの雄大な景色を楽しみ、ダム湖を満喫した様子でした。



▲湖面で行われたボート体験の様子

芸術文化祭・商工まつり

秋の恒例行事、芸術文化祭と商工まつりが今年も賑やかに開催されました。

【芸術文化祭】

11月1日から3日にかけて開催された芸術文化祭。町民体育館と横田コミュニティセンターでは、グループ・個人の力作・秀作や子どもたちのかわいらしい作品などの展示、絵付け体験やそろばんストラップづくりなど様々なワークショップコーナーがあり、来場者を楽しませていました。会場をめぐるスタンプラリーも開催され、子どもたちも楽しんで取り組んでいました。

また、2日にカルチャープラザ仁多で行われた芸能音楽祭では、歌や踊り、演奏など22組が日頃の練習の成果をステージで披露しました。

【商工まつり】

商工祭りが11月2日、役場横田庁舎駐車場を会場に開催されました。恒例のそば早食い、ブラスバンド演奏、仁多乃飛炎太鼓演奏、大抽選会など様々なステージイベントで盛り上がりしました。また、会場には多数の屋台が出店され、多くの人で賑わいました。



トップ選手を招待して陸上競技を堪能

仁多郡陸上競技大会

第九十八回仁多郡陸上競技大会が十月十二日、三成公園陸上競技場で開催されました。

今年は、中国電力(株)陸上競技部からOBの田子康宏選手をはじめ三名の選手を招待し、フィールドとトラックで全六十一種目が行われ、秋晴れの下、選手は爽やかな汗を流しました。

大会では、小学校女子走り幅跳び、小学校女子ソフトボール投げの二種目で大会新記録が誕生するなど、好レースが展開されました。

トップアスリートの陸上教室

大会後には、「運動好きな奥出雲町の子どもを育てるプロジェクト『トップアスリートと一緒に走ろう!』」と題した陸上教室が開催され、約百人の小中高生が田子選手らから直接指導を受けました。教室では、長距離走のラストスパートのコツを、子どもたちがイメージしやすいようわかりやすく伝授。

参加した子どもたちは、トップ選手の「本物の走り」を、楽しみながら体感した様子でした。



▶一般男子ロードレース(5km)競技の様子

地域と共に歩む病院を目指して

奥出雲病院で病院祭開催

病院の業務や医療に関する理解を深めてもらおうと毎年開催している奥出雲病院祭が十月二十五日、奥出雲健康センターで開催されました。

会場では、病院各部署の活動紹介や疾病予防に関するパネル展示、健康チェックや健康相談ができる「まちの保健室」のほか、仁多中学校と横田中学校のブラスバンド演奏や奥出雲神代神楽社中による神楽上演が行われました。

今年は、隣接する島根リハビリテーション学院の文化祭「桜雪



▶トップ選手からコツを教わる子どもたち

祭」と初の共同開催。会場には多くの人が訪れ、楽しみながら医療や自身の健康などについて関心を深めていました。



▲パネル展示コーナーの様子



▲毎年好評の「まちの保健室」